

「岡山備南千両なす」ブランド産地の取組

JA岡山備南施設茄子部会

岡山県岡山市南区北七区 6 1 - 1

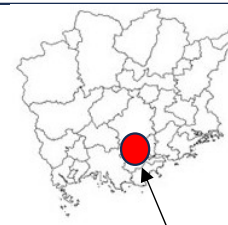
TEL : 086-363-5122

経営概要 ▶



【経営規模（部会）】岡山県内最大のなす産地

- ◆ 生産者 : 58戸
- ◆ 栽培面積 : 10.0ヘクタール
- ◆ 出荷数量 : 約1,000トン／年
- ◆ 販売金額 : 約5億円／年



岡山市

【取組の経緯】昭和44年施設茄子の栽培を開始、「岡山備南千両なす」のブランド化に取組む。共同育苗、カメラ付き自動選果機の導入により生産・選果体制を効率化。



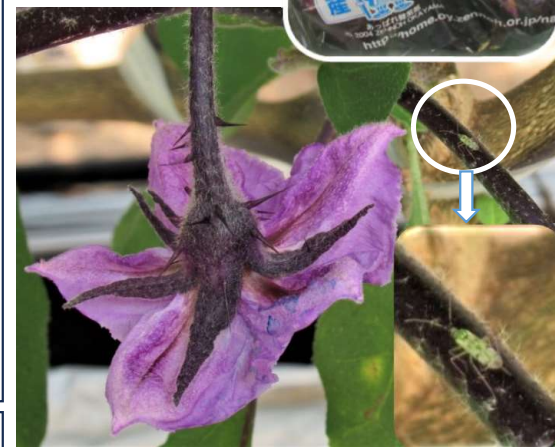
カメラ付き選果機



特徴的な取組 ▶



- ◆ 生産
 - ・ 児島湾干拓地の肥沃な農地と瀬戸内の温暖な気候の下、9月～翌年6月末の間、冬春なす（千両なす）のハウス栽培に取組。（出荷のピーク：翌年4月～6月）
 - ・ 平成25年頃から、害虫であるアザミウマの天敵となるタバコカスカメ（カメムシの一種）を導入して、農薬の使用量、散布回数を削減。新たな取組として、令和4年からフェロモントラップ（虫のフェロモン成分を利用して対象害虫を誘殺する装置。）を併用し、農薬使用量削減に向けた取組を推進中。
 - ・ また、接ぎ木苗（約5万本）の共同育苗や、ハウス内の温度管理の自動化を進めるとともに、かん水パイプの利用や千両なすの単為結果なす（着果処理なしで、正常に果実が肥大する品種）を導入することで、作業の効率と高品質の確保を実施。
- ◆ 出荷・販売
 - ・ 農家の一次選別後、カメラ付自動選別機により、千両なすの大きさ、色、形等を効率よく選別。
 - ・ 10aあたりの収穫量は少ないものの、高品質化によるブランド化を確立。主な出荷先は、東京と京都市場のほか、大阪、神奈川、岡山にも出荷している。



なすの花とタバコカスカメ

今後の展望 ▶

- ◆ 千両なすの単為結果なすを導入し、農家の受粉作業の効率化を図る他、害虫駆除対策の天敵やフェロモントラップなどを活用し、農業の環境負荷低減に取り組む産地を目指す。

取材年月日：令和6年10月10日